

H. Y. 2017年卒 地域マネジメントコース

## こんな学生時代を過ごしました

実習は1年のみ東日本大震災関連PJに所属し、2年からは猪倉実習で活動をしていました。東日本大震災関連PJでは第5次派遣、6次派遣で活動させていただきました。

猪倉では農業に関する全般の担当をしていました。芋焼酎のプロジェクトが始まってからは、ほとんど畑について考える日々でした。

当時はやりたいこと等が明確ではなく、興味がなくてもとりあえず参加できそうな活動はやってみるといった学生でした。当時はコースが3つに分かれていましたが、福祉コース、ボランティアコースの活動にも参加させていただいていました。AIAや祭りでの出店など、実習、ゼミ以外でも地域活動に傾倒していた記憶があります。ただ、地域活動が好きだったというわけではなく、同期たちの行動力、熱意、そして驚愕なアイデアなどを感じることで出来て楽しいという理由で活動していました。

在学中の目標は『地域創生5期全員と話すこと』です。3年終わりまでかかりました。



猪倉実習最初の焼酎用芋の収穫の写真  
市役所、地域の方、大学、関係者総計50名あまりの共同作業をまとめることの難しさを学び、自分たちが始めるプロジェクトの責任と期待大きさを感じました。

## 卒業後こんなキャリアを歩んでいます

現在は日本赤十字社で働いています。

赤十字が経営する病院で3年間勤務し、人事異動を経て現在は北九州で勤務をしています。魚町で1年勤務したのち、現在は職場で大型免許を取り、毎日どこかへ献血バスを持っていく仕事をしています。

北九州市立大学にも伺うのでお会いすることがあるかもしれません。赤十字は災害、紛争などで救護活動を行う団体です。将来的には救護班の一員として活動したいと考えています。

## 現役生へのメッセージ

地域創生学群のいいところは幅広い地域活動ができることだけではありません!! 同級生、先輩、後輩、関わってきた地域の方...その価値観に触れることが出来るのが強みであり学びの場だと感じています。

ちそうで培ったコミュニケーションスキルを武器により多くの人と関わっていただきたいです。



献血のお願いや自身の経歴を授業前に話す機会をいただいた写真  
人前で話し続けていた地域創生学群人生だったからこそアドリブでも平気です☆